

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有)まはえ	代表者	横山源太	法人・事業所の特徴	サービス付き高齢者向け住宅の中に小規模多機能型居宅介護と、訪問介護事業所を併設しており、ご利用者様の状態に合わせてサービス内容を選択することができる。
事業所名	まはえ瀬名花壇	管理者	森竹典子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	2人	1人	1人	0人	5人	0人	12人

項目	前回R 3.3月の改善計画	前回R 3.3月の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回R 4.3月の改善計画
A. 事業所自己評の確認	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着の観点から外部との関わりの重要性を職員が理解し実行する 加算要件と連動している点も理解する 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において積極的な行動に移すことが難しかった 	<ul style="list-style-type: none"> 改善点は明らかだが改善計画が不明である 	<ul style="list-style-type: none"> S型デイとの関わりを持ち情報を共有する
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 手すり、ドアノブ等の除菌が毎日行われている又その記録がある 事務所職員と連携して不快な音や臭いは対応する 	<ul style="list-style-type: none"> マスク着用手洗いに加え除菌作業が標準的に行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 一度内部を見てみたい 	<ul style="list-style-type: none"> 食事等も含めた見学会を開催しより理解を深めて頂く
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 小さなイベントの立案実行をする 地域イベントの協力、参加をする 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でイベントが行われていない為参加できていない 介護相談ののぼり旗で飛び込みの相談が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でイベントは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 花を育てることによりほんの少し交流の場を作る
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 近くの公園等の外出時にコロナ対策を持って近隣の方とのコミュニケーションを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 外気浴を含めた感染対策を行ったうえで散歩を行った。頻度をあげていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> でんでん体操を維持している事は素晴らしい 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験をもとに積極的に外出の機会を増やし刺激を得る
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 会議時間の中で長引かない程度に画像の説明をする 地域での取り組みと一緒に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 事故報告は結果までを報告する。 画像でイベントをわかりやすくする。 上記は実行でき理解度が増した 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を守れて良い会議だと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 報告だけでなく意見交換の機会にしていく
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> R3.4/21の防災訓練に自治会長様に参加して頂く 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間程度は発電できるため何かあった際は瀬名花壇へという意識を周知していく 	<ul style="list-style-type: none"> 開催日時を事前に自治会に連絡してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の皆様にも積極的に参加してもらう 訓練にしていく